

法学部 法律学科



少人数制の授業で法を学び、 地域社会や企業など幅広い分野で活躍できる人材を輩出

社会にはさまざまな立場や意見が存在します。お互いの主張がすれ違う場面で求められるのは、多角的な視点に裏付けられた、公平・公正な感覚と論理的な思考力・判断力。教員と学生のコミュニケーションを密にすることに重点を置き、議論を通して法的な思考プロセスを育成していきます。また、1年次から演習(ゼミ)科目を履修し、目指す進路に応じたコースやプログラムごとに専門性を高めていきます。



1

少人数ゼミ(担任制)の下で、
コミュニケーション能力を育成

学生同士や教員とのコミュニケーションに
重点を置き、少人数講義やアクティブ
ラーニングによって法を基礎から専門性を
高めながら学ぶことができます。



2

学生同士による模擬裁判など、
体験を通して法律を理解

社会が抱えている課題、実際に起こった事件
など、身近なテーマを題材に、それらを解決する
ための考え方をトレーニングし、
より実践的な学びを得ることができます。



3

目指す進路に直結した授業を
履修することが可能

それぞれのキャリアプランに合わせ、
公務員試験や資格試験などを見据えた
科目も用意し、法的思考を磨くと同時に、
将来に向けて学習することができます。

1年次

「法律」の基礎を押さえて
大学生活の基本を学ぶ

2年次

実践的学習を通じて
身に付けた基礎力を活用

3年次

コースやプログラムごとに
専門性の高い学習を実施

4年次

それぞれの進路に応じて
スキルアップ

卒業後の主な進路

- 国家公務員 ● 地方公務員 ● 警察官 ● 消防官 ● 法律関連事務所職員 ● 金融関連企業
- 保険関連企業 ● 不動産関連企業 ● 民間企業法務部など

MORE INFO

さらに詳しい
学部学科案内は
WEB、スマホで!





法学部

FACULTY OF
LAW

学部長からのメッセージ

「法」を学ぶことは、「知的な大人」への第一歩。

法学部は、最も多彩な進路の可能性を持つ学部です。弁護士、検察官、公務員、教員、警察官、NPO、消防官、社会起業家、自動車ディーラー、商社マン…法学部卒業生の進路は多種多彩です。皆さんの個性に合わせるため、5つのコース、1課程に加え、少人数の講義、ゼミを用意しました。充実した4年間を送り、地域からグローバルまで、自分が活躍したいフィールドを定めてください。幅広い視野を身に付け、未来に羽ばたく準備をしてください。

麻妻 和人 教授 [刑事訴訟法 / 刑事法]





法律学科

一人ひとりが思い描く将来のキャリアプランに合わせた多様な学び方ができるカリキュラムで、5コース、1課程による学科編成。また、少人数の講義やゼミを通じ、幅広い業界・業種で生かせる学問の知識と実践力を養います。

- 法律専門職コース
- 地方公務員コース
- 警察官・消防官コース
- ビジネス<Biz>キャリアコース
- スポーツ法学コース

法科大学院への進学(裁判官・弁護士・検察官志望)や、司法書士、行政書士等の資格の取得、国家公務員(国税専門官、裁判所事務官等)の合格を目指す学生を対象とします。憲法、民法、刑法など法律専門科目を重点的に学び、公務員演習を活用してその他政治、経済科目を総合的に学びます。

地元が好きで地域社会に貢献したい、地方公務員になりたい学生を対象とします。ゼミや演習で地元企業が出す課題を研究テーマとして地域の課題を検討したり、公務員演習を活用して学習していきます。

警察官・消防官をはじめとする公安職公務員を目指す学生を対象とし、1年次から志望者を集めたゼミで学習していきます。採用試験対策はもちろん、任官後の昇任試験まで視野に入れたカリキュラムとなっています。海上保安官、刑務官、皇宮護衛官など他の公安職公務員にも対応しています。

金融業や不動産業等の民間企業への就職や起業を目指す学生を対象とします。民法や商法等の取引の基本となる法律科目、市場経済のルールや起業のための法的知識に関する科目、さらに簿記、会計学、経営学の科目を履修することを推奨し、法律、経済、経営について総合的に学んでいきます。

高校まで打ち込んできたスポーツ活動を継続しながら、法学を学んで多様なキャリア選択を視野に入れる学生を対象とします。スポーツを継続しやすいカリキュラムのもと、スポーツに関係する科目や法律科目を総合的に学ぶことができます。

1年次	
学びのステップ	<p>法律専門科目について基礎から学習。コースやプログラムごとの基礎演習を通じ、読解力や分析力などのベースとなる知識やスキルを身に付けます。</p> <p>法律の基礎学習 憲法・民法・刑法を中心に</p>
	<p>治安・防災 治安、防災上の課題など</p>
	<p>社会の幅広い知識 国際情勢、国内外の経済状況、地域課題などについて学ぶ。グループワークにより、コミュニケーションスキルを取得し、ゼミなどでのプレゼンテーションの経験を積む。</p>

さらなる学び

さらなる学びとして、教職課程、留学制度、単位互換制度などがあります。



課程

▶ 教職課程

免許取得だけでなく、教員採用試験を見据えた受験指導「中学校教諭1種免許状(社会)」と「高等学校教諭1種免許状(公民)」の取得を目指す学生を対象に、教員採用試験を見据えた受験指導を実施。

学科長からのメッセージ

社会というフィールドで活躍するための学びがここにあります。

大学での豊かな出会いと会話、考え抜いて発した言葉が、皆さんの将来を形づくります。だからこそ、法律学科では、学生同士や教員とのコミュニケーションを密に授業を展開し、さまざまな学びを得られる場を提供します。「法律」だからといって、身構える必要はありません。対象は、政治・経済から若者文化に至るまで多種多様です。法律学科での学びのなかで、職業選択、社会人に必要な価値意識や論理的思考力を身に付けてほしいです。

谷脇 真渡 教授 [刑法]



2 年次	3 年次	4 年次	大学院
<p>コースやプログラムごとに実践的な学習を行います。社会問題、事件など、身近なテーマを題材に、解決するための考え方をトレーニングします。</p> <p>公務員 世界の動き、国内外の課題について</p> <p>法律専門職 憲民刑、行政法、経済学などを学習</p> <p>公務員演習Ⅰ</p>	<p>専門分野に分かれ、その知識をさらに深めていきます。法的思考を磨くとともに、公務員、資格試験などの対策も行い、将来に向けた学習を進めます。</p> <p>公務員 行政課題について学び、企画提案を練る</p> <p>法律専門職 資格試験などに備える</p> <p>公務員演習Ⅱ・Ⅲ</p>	<p>専門分野の学習成果の集大成とし、法律演習以外にも、進路に応じた専門科目を履修し、スキルアップを目指すことも可能です。</p> <p>法律専門職・各種資格試験</p> <p>各自治体職員採用試験</p> <p>▶ 卒業に向けて 公務員試験、資格試験などの対策。 大学院進学などの進路。 早期(3年次)卒業も可能</p>	<p>法学研究科</p> <p>法律の領域を幅広い視点から見つめ、国際的な教育と研究を展開するため、法律学に特化した専攻を設置。細分化された枠組みにとらわれることなく、自主的に授業科目を選択できるなど、興味・関心のある分野を極めることができます。</p> <p>法学学専攻 [修士課程2年]</p> <p>①法律専門職領域、②税務職コース、③政治行政領域の3つの領域/コースを設置。これらの領域/コースでは、修士課程修了後、社会に出て幅広く活躍することを念頭に置きつつ学び、研究できるようカリキュラムを構成しています。</p> <p>法学学専攻 [博士後期課程3年]</p> <p>既設の大学院法学研究科修士課程における法学研究教育を基礎とし、かつ、それに接続して、日本の将来の法学および法実務のより高度な発展を支えることができる研究者および高度の専門的職業人を養成します。</p>
<p>治安・防災 刑法、刑事政策、消防学などを学習</p> <p>公務員演習Ⅰ</p> <p>▶ 学外学習 施設見学、インターンシップなど</p>	<p>治安・防災 刑法や刑事訴訟法の専門ゼミで深く学ぶ</p> <p>公務員演習Ⅱ・Ⅲ</p>	<p>法律専門職・各種資格試験</p> <p>各自治体職員採用試験</p>	
<p>専門性を高める 1年次に取得したコミュニケーションスキルをさらに磨き、市場経済のルールを学んでいく。</p> <p>▶ 学外学習 インターンシップ、ボランティアなど</p>	<p>学問を深めながら、就職活動 ゼミなどで他の学生と議論しながら深く探究。また、インターンシップ、業界研究、ES(エントリーシート)添削などを通じて、就職活動を進める。</p>		

プログラム1

▶ 留学制度

交換留学と短期留学があります。法学部ではアジア圏の大学と交換留学を行っており、短期留学では英語圏の大学に留学する制度があります。

プログラム2

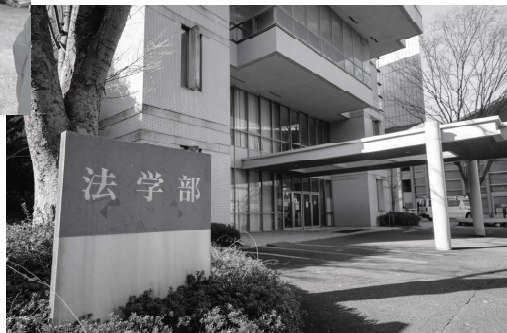
▶ 単位互換制度

横浜市内大学間単位互換制度があり、他大学での講義を受講し単位認定も可能です。



※プログラム、課程はそれぞれのコースと同時履修可能。※別途、履修手続きなどが必要です。

法学部



Q & A

Q: 法律の勉強は難しそうですが、授業についていけますか？

A: 予備知識がなくても心配する必要はありません。1年次には法学入門ゼミをはじめとした少人数制の授業を通して、法律の基礎知識や法的な考え方を基本から学習します。法律の基礎知識を身に付けることもさることながら、社会の出来事に関心を持つことが重要です。

Q: 法律の勉強は民間企業の就職にも対応していますか？

A: 就職実績(P.40)で紹介しているように、多くの先輩が民間企業に就職しています。特に、法令や企業倫理の順守を意味する「企業コンプライアンス」の徹底から、この点についての知識を持った法学部出身者は企業にとって有用な人材と言えます。

Q: 公務員になるためにどんなサポートがありますか？

A: 教養試験対策として、実績のある公務員試験予備校の講座を105分×全150コマ分、学内で受講することができます。具体的には2年次後期から3年次後期にかけて単位認定科目を計78コマ分(受講料無料)、夏期・春期の課外講座を計72コマ分(受講料4万円程度)用意しています。講座の他にもエントリーシート・面接対策など幅広くサポートします。また、実際に施設見学に行き、現場の様子を見たり、仕事内容や試験対策などを職員の方から聞いたりすることができます。



卒業生からのメッセージ



**難関の国家試験を突破し、
法律面で人々の暮らしを支える。**

高校時代の私はサッカー部の活動に全力を注いでいたため、勉強は苦手でした。当時大学内で開かれていた宅建講座を知り参加してみました。講師を担当してくださった司法書士の先生が「やる気次第で必ず合格できる」と助言をくれ、無事に合格できた時は本当に嬉しかったですね。その後、行政書士の資格取得にも挑戦し4年次で資格を取得しました。卒業後は4年間の勉強の末、司法書士の資格を取得しました。今は司法書士と行政書士を兼業しています。学生時代に先生が言った「人の能力を10で表すと元々の能力は1あるか、ないか。9の努力をした人が最後に勝つ。法律家は依頼者のために努力をいとわないことが大切」という言葉を胸に、仕事に取り組んでいます。桐蔭横浜大学は、前向きに挑戦する学生を支えてくれます。だからこそ、皆さんも自分の興味のあることに全力を尽くしてください。

牧野 賢努

[法学部 法律学科 2010年3月卒業]
司法書士・行政書士 牧野賢努事務所 勤務

授業内容(カリキュラム)についてはこちらをご覧ください。▶▶▶▶



法律学科